

(18) (社)ニュービジネス協議会「高校生アントレプレナー塾」

<p>教育の対象者 高校生</p> <p>教育の実施者 (社)ニュービジネス協議会(NBC) 1985年9月に通商産業省産業政策局サービス産業課を主務官庁として設立されたニュービジネスの振興に寄与する我が国最初の公益法人の団体。 ニュービジネス振興のための「政策提言」、ニュービジネスに関する様々な「研究・情報提供」、ニュービジネス起業家の発掘・育成の「支援事業」、会員企業の経営強化や経営者相互の研鑽のための「委員会・研究部会」を行っている。</p> <p>東京都 2001年3月からは、東京都が都立高校において、(社)ニュービジネス協議会と連携して実施している。</p> <p>教育プログラムの企画者 (社)ニュービジネス協議会</p>
<p>教育プログラム企画の背景・経緯 (社)ニュービジネス協議会の創業促進部門の活動の一環として、「ベンチャー塾」「寺子屋かいぎ」に続いて実施された。</p> <p>教育プログラムの目標 独立の志を持つ青少年の育成</p> <p>教育プログラムの目的 創業意識の啓蒙</p>
<p>教育プログラムの内容 実施期間・回数・頻度・延べ時間 ・文京女子大学高等学校で、2000年10月11日に実施。 ・この他、2000年度内に法政大学の付属高校二校で実施。 ・また、2001年3月には、東京都がニュービジネス協議会と連携して、都立第二商業高校で「アントレプレナー塾」を開催した。</p> <p>実施場所 ・学校内(文京女子大学嶋田依史子記念館仁愛ホール；講堂で一堂に会して実施)</p> <p>対象者の人数規模 ・文京女子大学高等学校では、高校生500名を対象とした。 ・都立第二商業高校における講義では、対象は情報処理課2年生80人。</p> <p>プログラムの内容 ・起業家(現役実業家)を講師として特別授業を高校で実施し、用語説明や独立の口マンと苦労などの体験談を講演する。 ・当日のプログラムの内容は以下の通りである。 開講の挨拶： アントレプレナー度チェック：事前配布資料に基づき、参加した高校生のアントレプレナー度をチェック。 ケーススタディ：「起業の楽しさのバーチャル体験」として、(社)ニュービジネス協議会講師陣のコメントをはさみながら、企業経営の様々なステージにおける意思決定を体験した。 質疑応答：(社)ニュービジネス協議会の講師陣が、高校生の率直な質問に答えた。 終講の挨拶 ・2001年に都立第二商業高校で実施された「アントレプレナー塾」では、生徒1人1人がパソコン教室の社長になって、ライバル会社が出現したり、幹部社員が退職し</p>

<p>たりしたらどうするか、意見を発表し合う授業を行った。</p> <p>講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志太 勤氏((社)ニュービジネス協議会会長、シダックスフードサービス(株) 代表取締役会長) ・鳥羽博道氏((社)ニュービジネス協議会副会長、(株)ドトールコーヒ- 代表取締役社長) ・篠原欣子氏(テンプスタッフ(株) 代表取締役) ・山崎智子氏((株)ドゥクリエーション 代表取締役社長) ・岩尾啓一氏((社)ニュービジネス協議会「高校生アントレプレナー塾」特別研究部会長、(株)ウェイステーション 代表取締役会長) 等
<p>教育プログラムの効果</p> <p>2000年10月に当プログラムを実施した文京女子大学高等学校では、プログラム終了後、参加していた生徒の約40%が起業の意欲を持つというアンケート結果が得られ、起業家精神の涵養に役立った。</p>
<p>行政・企業・地域社会による支援の状況</p> <p>2000年度に都内3校で実施された「高校生アントレプレナー塾」は、NHKのニュースで取り上げられるほど反響が大きく、東京都知事も「都立高校で実施してみたい」と関心を持った。その後、2001年3月には、東京都がニュービジネス協議会と連携して、都立第二商業高校で「アントレプレナー塾」を開催した。</p>
<p>今後の展開</p> <p>2001年10月には、雇用・能力開発機構と共同で、衛星放送と双方向通信システムを使い、全国の高校生向けに「アントレプレナー塾」を行う。同機構が所有する生涯教育や再就職者向けの遠隔通信教育施設「アビリティガーデンネット」を活用する。同ネットの受信施設は全国の職業能力開発短大など66カ所にあり、全国の高校生2千人に向けてアントレプレナー教育を展開する計画。衛星放送を活用したアントレプレナー教育は初めてのもの。アビリティガーデンは通信衛星を使った遠隔教育システムで、テレビ局機能と講師、受講者が双方向でやりとりできる機能を持つ。(社)ニュービジネス協議会は、このネットを使って効率的に起業家精神を触発するアントレプレナー教育プログラムを準備する。受信施設に高校生を呼びベンチャー企業(VB)の経営者らとの対話を行うことなどが内容。「起業」から「株式公開」に至るさまざまな場面をクイズ形式で疑似体験させるプログラムなども計画。全国の高校には職業能力開発センター(ポリテクセンター)から参加を呼びかける。</p> <p>2001年11月には「高校生アントレプレナー塾2001」と名付けたイベントを開催(8月に予定していたが、参加希望者が当初予定を下回り、延期された)。内容は、スライドを用い、企業経営における様々な場面を「Q&A」方式で出題し、それに対してパネリストである創業経営者が自身の経験を踏まえ、コメントする。また、チャート図を使った「アントレプレナー度チェック」で高校生の起業家度を測定する。</p>
<p>照会先</p> <p>(社)ニュービジネス協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-8 井上赤坂ビル3階 ・TEL:03-3584-6080(代表) FAX:03-3584-6081

(資料)(社)ニュービジネス協議会ホームページ <http://www.nbc-world.or.jp/>

「ニュービジネス協、衛星放送使い高校生に起業家教育。VB経営者らと対話」『日刊工業新聞』(2001年4月30日)、「NBCが15周年記念特別事業 少年よ実業の志を抱け 高校生対象に起業塾開催」『日本工業新聞』(2001年4月24日)、「きみも経営者になろう 高校生向け「起業家塾」発足=YJP」『東京読売新聞』(2001年4月15日朝刊第2部)、「東京都、都立高校生対象に「起業家塾」-独創性や柔軟性など高度な人材を育成」『日刊工業新聞』(2001年3月7日)

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」
(H13年度)